

古文書を読む会学習記録

作成日 平成29年 2月25日

開催日	平成29年 2月23日	時 間	10:00～12:00
場 所	金沢公会堂リハーサル室	出席人数	14名
講 師	真田 雅行氏	作成者	鈴木 祥代
テーマ	第二学習 和宮様御下向 ②		
概 要	<p>助郷村々の勤務心得についての取極め(廻り田新田=小平市のケース)</p> <ul style="list-style-type: none">○当日14日前々日より御公卿様方が御通りになるので人馬は遅滞なく大切に勤めること○当日分は人馬成る丈壮健な者を選び村役人を付け見廻り、また宰領を十人に一人ずつ付けること○人馬札は落としたりしても札のない分は払わない○途中逃げ出した人足からは過怠金として銭貳貫文を取り立て、又組合の場合は人足が何人いても不行き届きに付、一人に付銭五百文取立て全体に割振り与えること○足痛など実病の分は困人馬から補充を出す、虚病の場合は差替え人馬は出してはならない○中山道荷物の通行の折、松明持参に付、火の元十分に気を付けること○今回の臨時助郷では荷押え人を付けるので馬一疋当り人足四人が付く予定で人足不足になる場合は手空きの村より雇うこと○御用が済むまでは全員禁酒し手違いないよう勤めること、但し八州取締出役等の見廻りには心得違いの無いように人足に言いきかせておくこと○人馬引率の場合、村毎に到着の有無、名前を記し、又村役人や宰領の名も記して提出すること <p>御内府の整備と警固(老中から大目付へ町奉行・勘定奉行に触れを出させるよう指示)</p> <ul style="list-style-type: none">○和宮様板橋宿より清水御屋敷に着かれる折、道筋や見通せる屋敷の大門潜りは建て直し、長屋などの窓には蓋をし、閉めること○往来はすべて人止めすること○見通せる場所は掃除をすること○道筋の屋敷の破損は見苦しくないよう手入れをすること <p>御下向道筋の造り方工法や仕様の指示</p> <p>往来の障りにならぬように道の凸凹がないように砂利を入れて通り易くすること等事細かに指示(神田・湯島の町々)</p>		
次回予定	平成29年 3月 9日 10:00～12:00 於: 金沢公会堂リハーサル室 第一学習 赤井村石井家文書 ⑮		